

学校が生まれ変わった



篠山市は、兵庫県の中東部に位置し、人口4万6千余り、面積約377平方キロ、豊かな自然に恵まれ、悠久の歴史と文化の薫り漂う、のどかな田園都市である。また、平成の大合併といわれる市町村合併の先駆的な自治体としてご存じの方も多いと思う。

少子高齢化という時代の流れは、篠山においても同様で、子どもたちの数は年々減少し、若年層は大阪、神戸など近隣の主要都市へと流出している。そのような情勢の中、ひとつの中学校の歴史が幕を閉じることとなった。平成10年春、新篠山町誕生の前年

篠山町立多紀中学校。南は大阪府、東は京都府と接する篠山



である。

市の東部にあり、半世紀近くに亘って、青少年の学び舎として機能してきた。しかしながら、近年特に過疎化の傾向が顕著となった地域にあり、子どもたちの減少と相まって、施設自体の老朽化により隣接する地域の中学校との統合を断行せざるを得ない状況となった。

閉鎖される学校は、そのまま地域の未来の姿と重なって見えたのか、危機感を持った地域の人たちは、統合が決定した直後の平成9年、行政と市民の代表による「多紀中学校跡地利用検討委員会」を

【未来への投資】

発足させ、活発な討議を重ね合った。実際には直接的な経済効果を求める企業誘致など

学校が生まれ変わる

—未来へそして子どもたちへ—

篠山市政策部チルドレンズミュージアム課長補佐

畑 哲也

の意見が大半であった。

「チルドレンズ・ミュージアムをつくろう」に行き当たった。「学校という子どもたちのための場所」という子どもたちのための場所は、子どもたちのための施設として活用したい」との強い思いは、委員の心を揺り動かした。



チルドレンズミュージアム発祥の地はアメリカ合衆国で、その歴史は百年を越えるといわれている。ただ、日本ではまだまだ知名度が低く、多額の施設改修費が大きなネックとなり、委員会の答申としては時期尚早と協議は難航した。

しかし、この新しい試みは、思いも寄らぬ展開をみせたのである。当時、多紀郡4町（篠山町、西紀町、丹南町、今田町）は合

旧1年A組教室
(くるくるステーション)



併協議会を立ち上げ、その中で合併特例債の活用を検討していた。「合併特例債を活用し、子どもたちの施設をつくろう」一委員の思いは、委員会の採決を経て大きく花開こうとしていた。

平成10年1月、「多紀中学校跡地利用について」の答申が旧篠山町へ提出された。当時の町長をはじめとする行政の決断を得て、合併特例債第1号の施設として大型プロジェクトがスタートした。そして、平成11年春、合併した篠山市へも引き継がれた。

【壁のうた】

平成13年7月27日、篠山チルドレンズミュージアムはオープンした。戦後約50年の間、青少年たちの学び舎として、また、地域の拠点として活用されてきた学校施設が、子どもを中心に多世代が交流するミュージアムに生まれ変わり、新たな活性化の拠点となった。

そして、驚きと発見、感動から想像力をかき立てる施設づくりを目指し、「創造性豊かな人づくり、子どもたちの『生きる力』を育む拠点づくり」を基本理念に、「心とからだ」「食と農」「自然と科学」「仕事と職業」の4つのテーマを設定している。

このミュージアム

は、古い校舎を再利用した施設であり、3棟の木造校舎と体育館はそのままの姿に

残り、展示施設や交流施設として活用し、グラウンドは芝生広場やアート作品が並ぶ「魔法の庭」に生まれ変わった。そして、新たに体験の拠点として、斬新なデザイアのワークショップ棟を新設した。

【みんなの手】

篠山チルドレンズミュージアムは様々な人たちの支援により運営されている。支援団体「ミュージアム・クラブ」は会員数約70名、地域住民だけでなく近隣市町からの入会もあり、展示物の製作やミュージアムショップの運営、イベント



天までとどけっ！（魔法の庭）

の開催など、会員自身が得意とする分野で活動を行っている。

また、中学生高校生のボランティア活動や子どもたち自身が他の子どももボランティアなど、それぞれが積極的に運営に加わっており、スタッフ、ボランティア、そして入館者が、みんなの手で作りに上げていくミュージアムといえる。

【大きな課題】

この多紀中学校は、チルドレンズミュージアムという形で再生された。そして地域最大のイベント「たきまつり」も開催されている。しかし、多くの自治体には廃校となり、そのまま放置されている学校もある。地域の核となる学校。その学校がなくなったとき、今まで形成されてきた地域コミュニティを存続させることができるのだろうか。少子化による学校の統廃合は、致し方ないことなのかもしれない。しかし、何らかの形で地域の核を守っていくの必要ではないだろうか。行政の手腕が問われるところである。

篠山チルドレンズミュージアム

<http://www.city.sasayama.hyogo.jp/children/>